



「海の日」「山の日」って…

祝日はたくさんありますが、7月の「海の日」・8月の「山の日」って、どんな日なのでしょう。

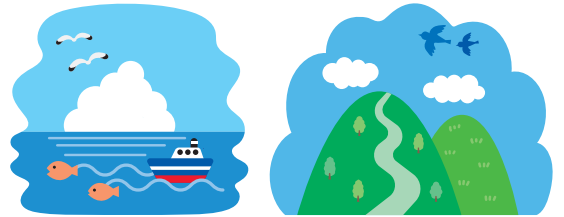
【海の日】 1995年制定。 2003年より「7月の第3月曜日」になりました。

「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨としています。ちなみに、海の日を祝日にしている国家は日本だけとのことです。


【山の日】 2016年制定。 8月11日。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としています。とはいえ、8月の登山は、熱中症の危険もあり、十分に注意しなければいけませんね。

海の日 山の日



「Eco列車でいこう！」～第154回～ 上高地。おとなの20キロ遠足。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

6月18日の早朝。松本市「さわんど駐車場」に到着。この先マイカー規制のため、クルマを止めてバスの往復券を買う(2400円)。梅雨時だからか、6:00発の「上高地」行きバスは空席が目立つ。

25分程乗車し、「大正池」で下車。早朝の気持ち良い時間帯に梓川沿いを歩く。雨の心配はないものの、曇り空で「焼岳」の展望も今一步。それでも、よく整備された木道の周りはお花がたくさん。そして、比類ないほどの清流が素晴らしい。

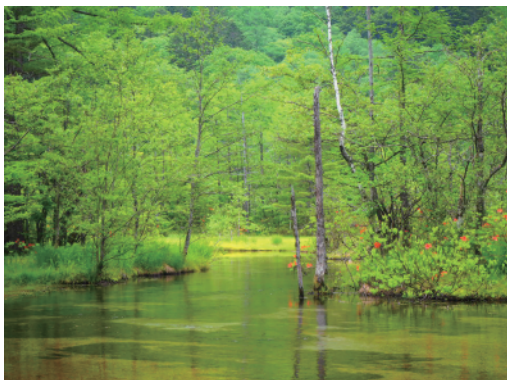
小一時間歩いて「上高地バスターミナル」に到着。「上高地食堂」でトーストの朝食。そこから5分歩けば、超有名スポット「河童橋」。穂高連峰は霞んでいるが、息を飲む景観だ。

「ビジターセンター」で情報収集をした後、「小梨平キャンプ場」を經由して「明神」、そして「徳沢」へと進む。正直なところ、一般的な山道で感動的な風景は無かった。徳沢に着くと、うれしいことに、おしゃれなカフェが営業中。「コーヒーソフト」を注文し、ゆったりとカフェタイムを楽しむ。

明神まで戻って、橋を渡り対岸へ。この道は清流あり、木道あり、お花ありで楽しい。河童橋近くでサルの群れに遭遇。おとなしいし、逃げたりしないので、ゆっくり観察ができる。

せっかくの大人旅。ランチは「上高地帝国ホテル」へ。「信州産地卵のオムライスとハッシュドビーフ」は3,300円。なかなか、いいお値段だ。デミグラスソースは旨味をあまり感じず、キリッとした味わい。「これが帝国ホテルの味なのだなぁ。」と思う。

上高地バスターミナルに戻ってきたのは14:30。8時間の滞在で約20キロ。よく歩いた。夜は、乗鞍高原温泉の白濁した硫黄泉で汗を流し、「岩魚の塩焼き」と「山菜のてんぷら」に舌鼓を打った。



田代池の新緑と清らかな流れ



河童橋と穂高連峰



上高地のサルはマイペースだ